



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	人工知能に関するグローバル研究拠点 相模原拠点サニーハ棟(仮称)整備事業	階数	地上1F
建設地	千葉県柏市	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、防火指定なし	平均居住人員	1人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年1月 竣工	評価の実施日	2017年6月12日
敷地面積	74,870 m ²	作成者	
建築面積	604 m ²	確認日	2017年6月13日
延床面積	592 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の合理性、耐久性、維持保全を考慮し、関係者の見学等について対応可能な施設とした。	その他 0
Q1 室内環境	執務にあつては、独立したスペースを設ける。	Q3 室外環境 (敷地内) 建設スペースを必要最小限とし、敷地の自然環境保全に努める。
Q2 サービス性能	設備機械の配置において、ゆとりあるスペースを確保する。	LR3 敷地外環境 敷地内に雨水浸透施設を設置し、雨水抑制を積極的に行う。
LR1 エネルギー	照明設備はすべてLEDを採用し、省エネルギーに努める。	
LR2 資源・マテリアル	エコマークを取得した建材の活用を積極的に行う。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

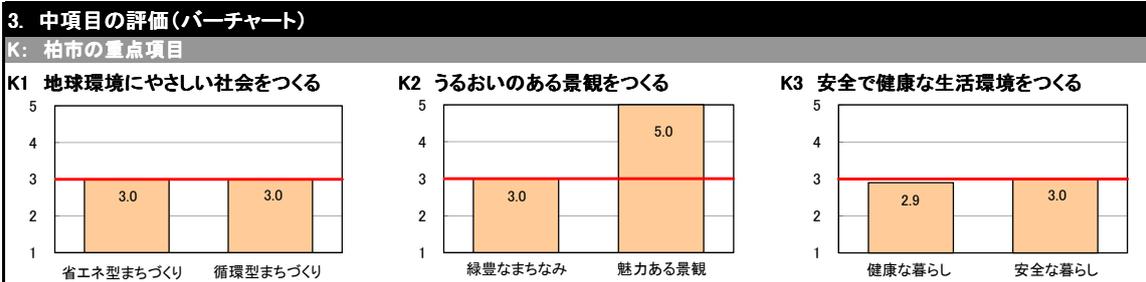


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1 建物概要		建築物の環境効率 (BEEランク)	B-	★★★★★
建物名称	人工能に関するグローバル研究拠点 柏ハブ拠点サーバ棟(仮称)整備事業			

2 重点項目への取組み度		重点項目	取組み度※(得点/満点)	評価結果
K1	地球環境にやさしい社会をつくる		3.0 / 5.0	3.0
K2	うるおいのある景観をつくる		4.0 / 5.0	4.0
K3	安全で健康な生活環境をつくる		2.9 / 5.0	2.9
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)		すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項		スコアシート
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>照明設備はすべてLEDを採用し、省エネルギーに努める。</p> <p>敷地内に雨水浸透施設を設置し、雨水抑制を積極的に行う。</p>	<p>1. 省エネ型まちづくり</p> <p>1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 対象外</p> <p>1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0</p> <p>1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 3.0</p> <p>1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0</p> <p>2. 循環型まちづくり</p> <p>2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0</p> <p>2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0</p> <p>2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.0</p> <p>2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0</p>	
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>建設スペースを必要最小限とし、敷地の自然環境保全に努める。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <p>1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 3.0</p> <p>2. 魅力ある景観</p> <p>2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0</p> <p>2.2 水空間の創出 設置の有無 ○</p> <p>2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 ○</p>	
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>外部に対する騒音を考慮し、外部室外機置き場に防音壁を設置する。</p> <p>設置機械等の荷重を考慮し、適切な支持方法とする。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <p>1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 2.8</p> <p>1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0</p> <p>2. 安全な暮らし</p> <p>2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0</p> <p>2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -</p>	